



**2024年6月22日
第51回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

◆はじめに

ぴあグループでは、2022年の第49回定時株主総会において、“ひとりひとりが生き生きと”した社会の実現を目指す「企業理念」を定款に加筆いたしました。

事業継続のための利益を求める「経済性」とともに、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、エンタテインメントを通じて、多くの人々を元気づけ、心を癒す“感動のライフライン”の構築を目指すことを、当社グループのビジョンに掲げております。

こうした理念に基づいて活動して参りました2023年度について、ご報告させていただきます。

[A] 2023年度業績の概要

- 1. 決算のポイント**
- 2. 業績について**
- 3. 配当について**

[B] 2024年度以降の計画

- 1. 3ヶ年の中期経営計画(2023～2025年度)
について**

[C] 企業理念にもとづく活動報告

1.決算のポイント



- ▶ 集客エンタテインメント市場は、ライブ・イベント開催の動きが活発化し、すでにコロナ禍前を遥かに上回る規模に復調。プロスポーツの盛り上がりや、人気アーティストの全国ツアー、音楽フェスやドーム規模の大規模公演増により、取扱高ベースでの売上は2,400億円規模となり、過去最高水準
- ▶ 主催イベントやメディア商品の多角化、「ぴあアリーナMM」稼働率の向上、ぴあカード会員の増加等、チケットティングビジネスを核とした周辺事業も好調に推移し、営業利益は期初想定通り、当期利益は想定を上回る結果に
- ▶ 中期経営計画に沿い、新規事業群への戦略的投資活動を強化。同時に、正社員の登用、中途社員の採用や、従業員の給与アップ・待遇改善・福利厚生の実質化といった、人的資本経営への取り組みにも注力した

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ①連結損益計算書



[単位:百万円]

	【前年度】	【2023年度】	【前年度差】
➡ 売上高	32,763	39,587	+6,824
売上原価	20,811	25,886	+5,075
差引売上総利益	11,952	13,700	+1,748
販管費	11,132	12,490	+1,358
➡ 営業利益	820	1,209	+389
営業外収益	197	175	△22
営業外費用	416	462	+46
➡ 経常利益	600	922	+322
特別利益	678	146	△532
特別損失	29	173	+144
税金等調整前当期純利益	1,250	895	△355
法人税等合計	△165	△219	+54
➡ 当期利益	1,415	1,118	△297

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ②連結貸借対照表



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2023年度】
現預金	26,356	33,919
売掛金	21,612	28,817
商品等	77	91
その他	3,315	3,987
流動資産：前年度比15,454百万の増加		
→ 流動資産	51,360	66,814
有形固定	12,660	12,212
無形固定	6,143	5,914
投資その他	4,634	5,329
固定資産：前年度比18百万の増加		
→ 固定資産	23,438	23,456
→ 資産合計	74,798	90,271

負債の部		
	【前年度】	【2023年度】
流動負債：前年度比8,660百万の増加		
→ 流動負債	56,434	65,094
固定負債	14,009	19,632
負債合計	70,443	84,726
純資産の部		
資本金	5,962	6,444
資本剰余金	2,128	2,610
利益剰余金	△3,583	△2,465
自己株式	△166	△1,063
他包括利益	10	18
非支配株主持分	3	-
→ 純資産合計	4,354	5,544
負債純資産合計	74,798	90,271

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ③連結キャッシュフロー



[単位:百万円]

	【前年】	【2023年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	1,250	895	△355
減価償却費	2,354	2,497	+143
売上債権の増減	△5,891	△7,204	△1,313
仕入債務の増減	11,565	14,320	+2,755
その他	384	1,948	+1,564
利息・税金等	△307	△81	+226
→営業キャッシュ・フロー	9,355	12,375	+3,020
無形固定資産の取得	△2,233	△1,456	+777
その他	△1,331	△760	+571
投資キャッシュ・フロー	△3,564	△2,216	+1,348
財務キャッシュ・フロー	△3,797	△2,596	+1,201
キャッシュの増減	1,994	7,563	+5,569
→現預金残高	26,356	33,919	+7,563

3. 配当について



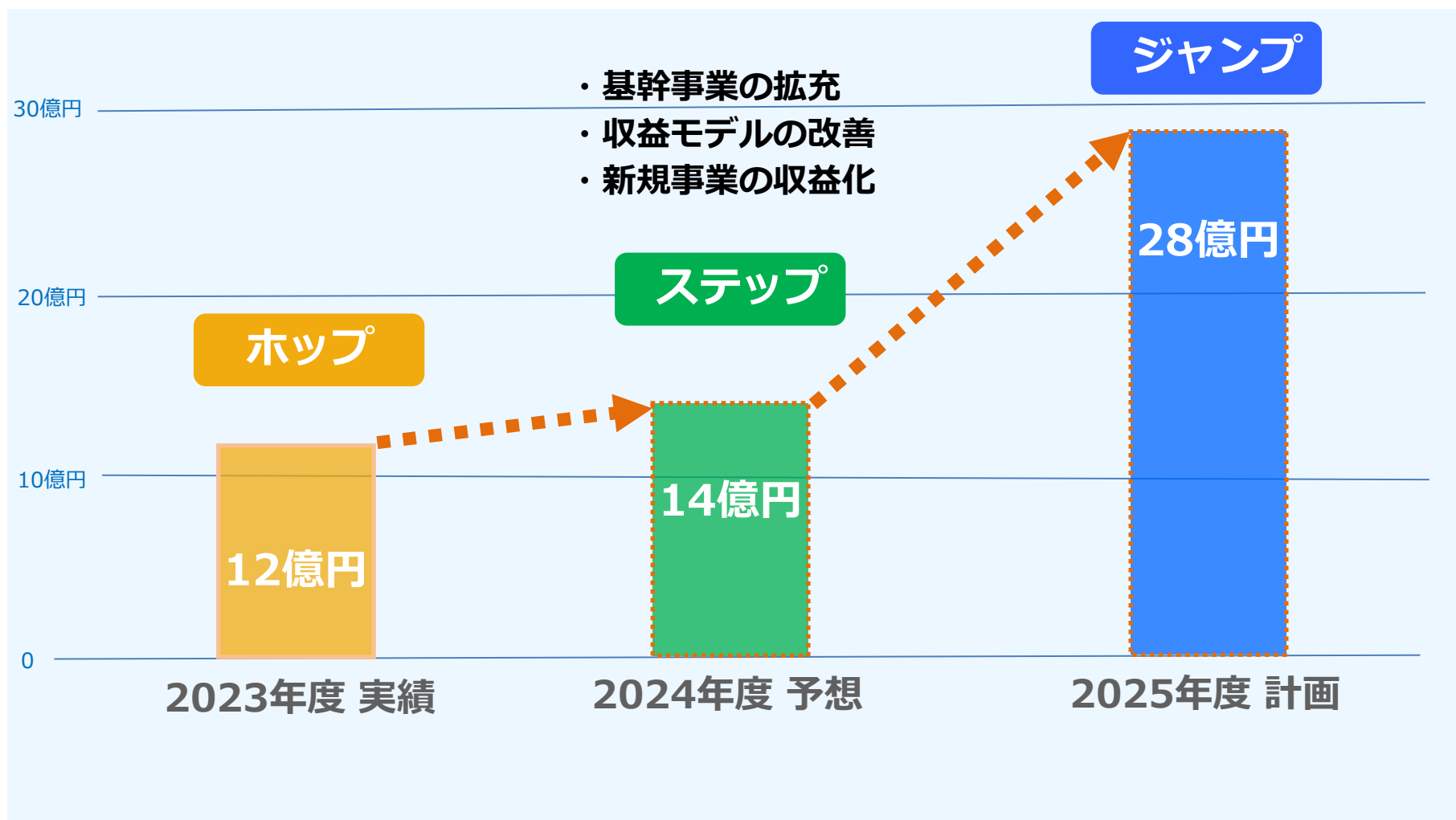
誠に申し訳ございません。

2022年度に続き、2023年度も黒字決算となりましたが、
2年余り続いたコロナ禍による多額の累損の一掃には至らず、
復配にはもう少しお時間をいただかざるを得ない状況です。

大変恐れ入りますが、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

1. 3ヶ年の中期経営計画(2023～2025年度)

▶中期経営計画の営業利益目標



ぴあは、企業理念「ひとりひとりが生き生きと」にもとづき、「はじめに遊びがあった」を事業活動の原点として、「感動のライフライン」の構築を目指してきました。

“感動のライフライン”は、私たちの生活になくてはならない、文化芸術・エンタテインメント・スポーツといった「集客エンタテインメント産業」が、サステナブルであり続けることを支えます。

そして、誰もがそれを自由に享受できる社会を目指します。同時に、それらの作り手たちをリスペクトし、応援します。

<目次>

1. ライブエンタテインメント市場の将来予測(ぴあ総研)
2. “感動のライフライン”事業の基本構造

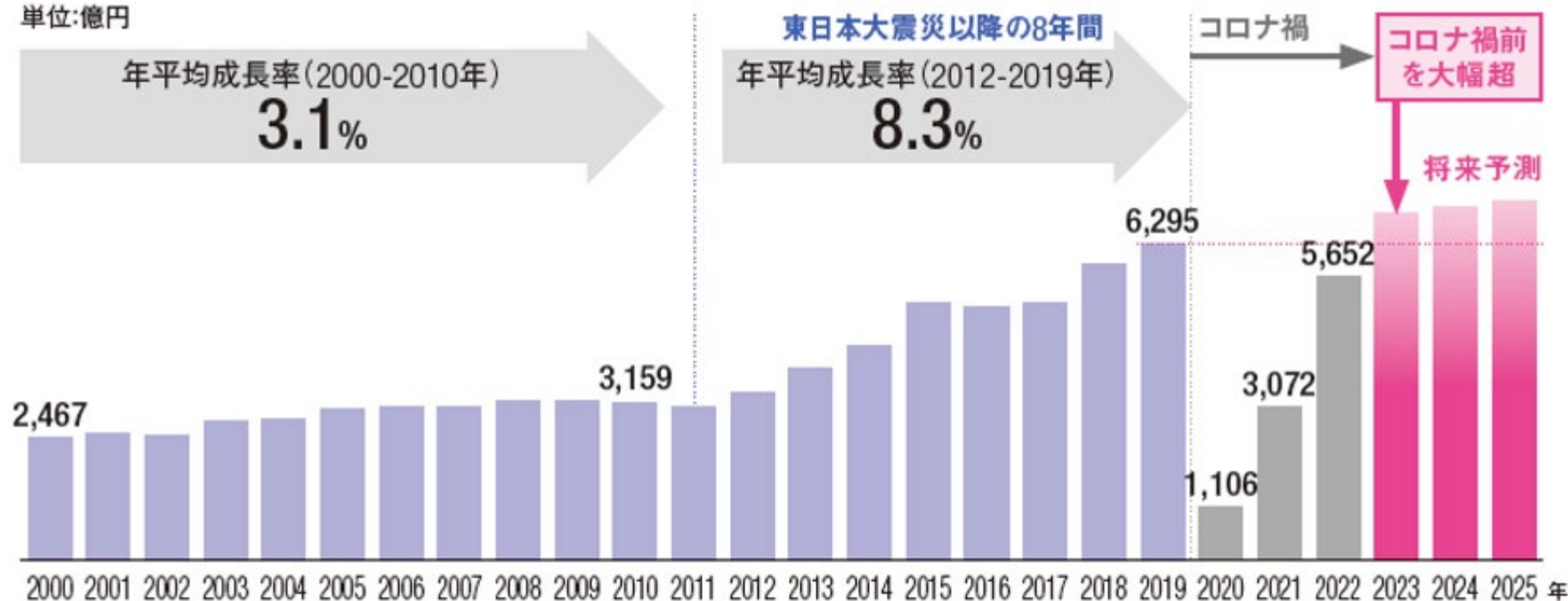
1. ライブ・エンタテインメント市場の将来予測(ぴあ総研)

- ▶ 2011年の震災以降、右肩上がりに成長するも、2020年～のコロナ禍により、市場の8割を失う壊滅的なダメージを受ける
- ▶ コロナ禍明けの2023年は、過去最高だった2019年を大きく上回る7,000億円規模に市場は回復し、今後も当面この傾向は続くものと予想

ライブ・エンタテインメント市場規模(音楽+ステージ)の将来予測

単位:億円

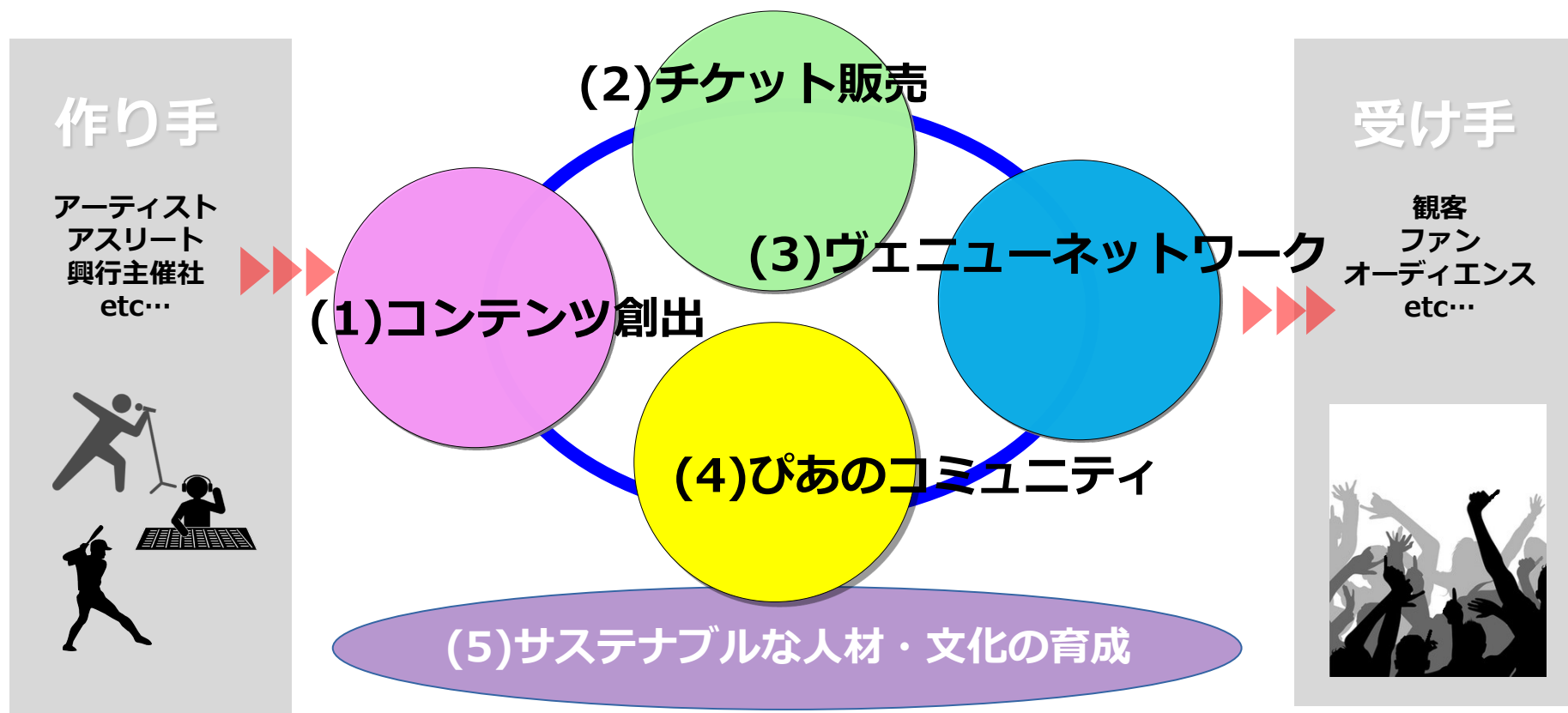
※オンラインライブは含まない



※将来予測シナリオは2023年12月推計値

2.“感動のライフライン”事業の基本構造

コンテンツの創出、チケットの販売、ヴェニューネットワーク、コミュニティの4つの要素で、エンタテインメントの作り手と受け手を一気通貫に繋ぎ、集客エンタテインメント業界のサステナブルな発展を目指す



2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(1)コンテンツ創出



①音楽フェスや演劇、花火大会など、地域性を生かした良質なコンテンツの創造、映画製作やアジアマーケットへの進出など、コンテンツ企画製作ビジネスを多角化



PIA MUSIC COMPLEX 2023 -ぴあフェス-

東京都若洲公園にて、32組の人気アーティストを招いた野外音楽フェスを主催、約3万人を動員。マイナンバーカードの実証実験も実施された



全国のパンを特集した出版物との連動からスタートした「パンのフェス」2024 in 横浜赤レンガ には約15万人が来場



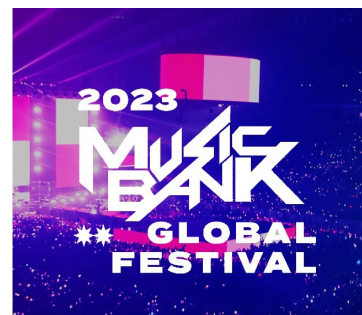
タイ俳優のファンイベントを主催、タイフェスティバルも同時開催



約100万人を動員する
神宮外苑花火大会



PFFスカラシップによる作品
『すべての夜を思いだす』
(清原惟監督)がベルリン国際映画祭に正式出品



KPOPの音楽祭
Music Bank Global
Festival 2023



三菱地所との合併会社
「MECぴあクリエイティブ」主催
POKEMON COLORS
YOKOHAMA

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(1)コンテンツ創出



②新たな切り口の創出や、異業種アライアンスによる、メディア商品の多角化

大ヒットした厚切りジェイソン氏の続編や、大谷翔平選手の語録などが引き続き好評



大ベストセラー『ジェイソン流 お金の増やし方』の続編が登場



大谷選手の高校時代、日ハム時代の語録集



人気バンド結成10周年を記念した初の公式本



デニーズ50周年記念のファンブック

③アプリ版「びあ」の進化

情報誌『びあ』のコンセプトを引き継ぎ、エンタメとの“偶然の出会いと発見”を提供する「アプリ版びあ」は、5年半で185万ダウンロードを突破、WEB版も展開。「パーソナライズ」をテーマに、株主様には無料でお楽しみいただける有料会員向けの特典・サービスも拡充。

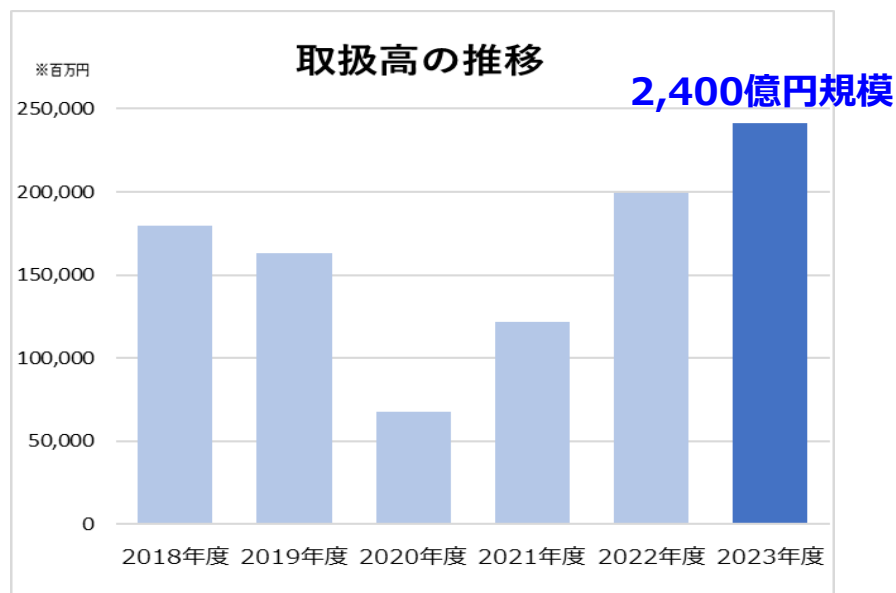


2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(2) チケット販売



① 取扱高はコロナ禍前を上回り、過去最高に



- ▶ チケットぴあの登録会員数：約2,000万人
- ▶ 年間のチケット発券枚数：約8,000万枚
- ▶ 全国の発券ネットワーク：約38,000ヶ所
- ▶ 取引先：約40,000社
- ▶ 取扱い興行数：約160,000件
- ▶ ソリューション提供先：約200社
大手興行元/主要ホール劇場/テレビ局/
プロスポーツ団体(野球・サッカー・相撲etc)/
プロスポーツチーム/劇団/プロダクション/等

② 大阪・関西万博のチケットティング業務を全面的に受託、入場券販売をスタート



当社グループからもスタッフを派遣し、昨年11月よりチケットの販売をスタート。開催は来年4月～10月の6ヶ月間。開催期間中の入場管理に至るまで、長期にわたる受託事業の完遂を目指す



2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(2) チケット販売



③ホスピタリティサービス事業の本格化

ワンランク上の感動体験を提供する「ホスピタリティプログラムチケット」は、すでに欧米では広く普及。当社グループでは、日本で初めてこのサービスの本格展開をスタート。様々な限定企画や特典をパッケージし、エンタメ鑑賞の付加価値を高めるとともに、市場の拡大とサステナビリティ強化を図る



【テニス】トークショー



【ラグビー】ピッチ見学



【花火】鑑賞クルーズ



【サッカー】選手訪問

現在販売中のホスピタリティチケット



7/27(土)
ヴィッセル神戸 vs トッテナム ホットスパー
明治安田Jリーグワールドチャレンジ2024
powered by docomo(国立競技場)



9/25(水)～10/1(火)
木下グループ ジャパンオープンテニス
(有明コロシアム)



11/4(月・祝)
バレエ「眠れる森の美女」
(新国立劇場)

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(3)ヴェニューネットワーク



日本初の民設・民営の大規模アリーナ「ぴあアリーナMM」や、ライブハウス「豊洲PIT」「仙台PIT」に続き、八重洲の新劇場の運営も受託

ぴあアリーナMM(横浜・みなとみらい)は、週末は1年半先まで予約が埋まる好況



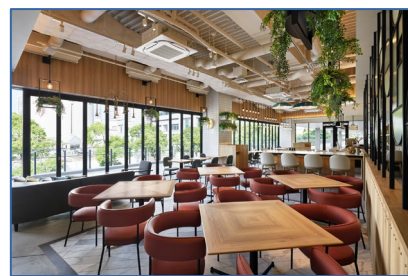
豊洲PIT(東京)



仙台PIT(宮城)



2025年度竣工予定「東京駅前八重洲一丁目再開発事業」の新劇場



ぴあアリーナMMの多角的展開、地域との連携

ぴあアリーナMM直営の「カフェ・ブルーベル」は、イベント開催日以外も通常営業中

PIA
MUSIC
COMPLEX
2024



11月の「ぴあフェス」では、周辺エリアや駅構内とも連動した地域ぐるみの街イベントも開催

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(4)ぴあのコミュニティ



“感動のライフライン”を繋ぐぴあのコミュニティ



①チケットぴあ

集客エンタテインメント市場のプラットフォームを構築する、日本最大のチケットエージェント

▶チケットぴあの登録会員「ぴあ会員」数：約2,000万人

▶取引先：約40,000社／ソリューション提供先：約200社

②ぴあカード



チケットの先行販売や当選率アップの特典、各種割引サービスの適用など、エンタテインメントファンの活動をバックアップする、ぴあならではのカードサービス。三菱UFJニコス社、JCB社のブランドで、会員数は現在約33万人

③アプリ版ぴあ

スタート以来5年でダウンロード数は約185万人、「ぴあアプリ/WEB」も展開中。ぴあの会員はいずれも、コミュニティ意識を持つ方々が集まる

④PANX(ぴあ朝日ネクストスコープ)

発行部数430万部、デジタル版で約3,500万UU/月を誇る朝日新聞との協業により設立。ぴあ会員約2,000万人、年間発券枚数約8,000万枚の購買履歴など、国内最大級のライブエンタメユーザーデータを共同利用した、広告ターゲティング、マーケティングなどのソリューションを提供。「ウレぴあ総研」「ぴあアプリ/WEB」も展開中



(5)サステナブルな人材・文化の育成



②PFF(ぴあフィルムフェスティバル)

2022年より、集客
エンタメ産業の社会的
意義について提言
するシンポジウムを
開催。先進的な実践
例やぴあ総研の研究
内容をもとに、集客
エンタメ産業による
地域活性のあり方を
模索

今回の基調講演は岡田武史氏

ぴあグループでは、心豊かな暮らしと社会のために、SDGs大項目の18番目に、文化芸術・エンタテインメント・スポーツの必要性を説き、あらゆる人々の文化的活動を強化・支援することを提言

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を



ぴあグループで作成した
SDGs18番目のマーク



第45回ぴあフィルムフェスティバル「PFFアワード2023」表彰式での受賞者と審査員



第5回「大島渚賞」では、世界へ羽ばたこうとする若い才能を顕彰

**JAPAN AIRLINES**

日本航空とPFFが連携し。JALの国際線&国内線機内で、PFFアワード受賞作の上映がスタート(5月～)

PFF出身の山中遥子監督の『ナミビアの砂漠』が、カンヌ国際映画祭で国際映画批評家連盟賞を受賞

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(5) サステナブルな人材・文化の育成



③ 「ぴあ落語ざんまい」スタート

約200名の落語家による、2,000本超の実際の高座を収録したサブスクサービスをスタート。伝統芸能の持続可能な環境の維持、若い世代の活躍推進をも目的とした、ぴあの新たな取り組み



新宿末廣亭

④ ぴあスポーツビジネスプログラム



国際的なイベントや、スポーツ団体のオフィシャルパートナー受託を通じて培ったノウハウを生かし、スポーツビジネス業界で活躍するための資質を、講義と実践を通して学べるビジネススクールを開講(4期目)

⑤ 人的資本経営への取り組み

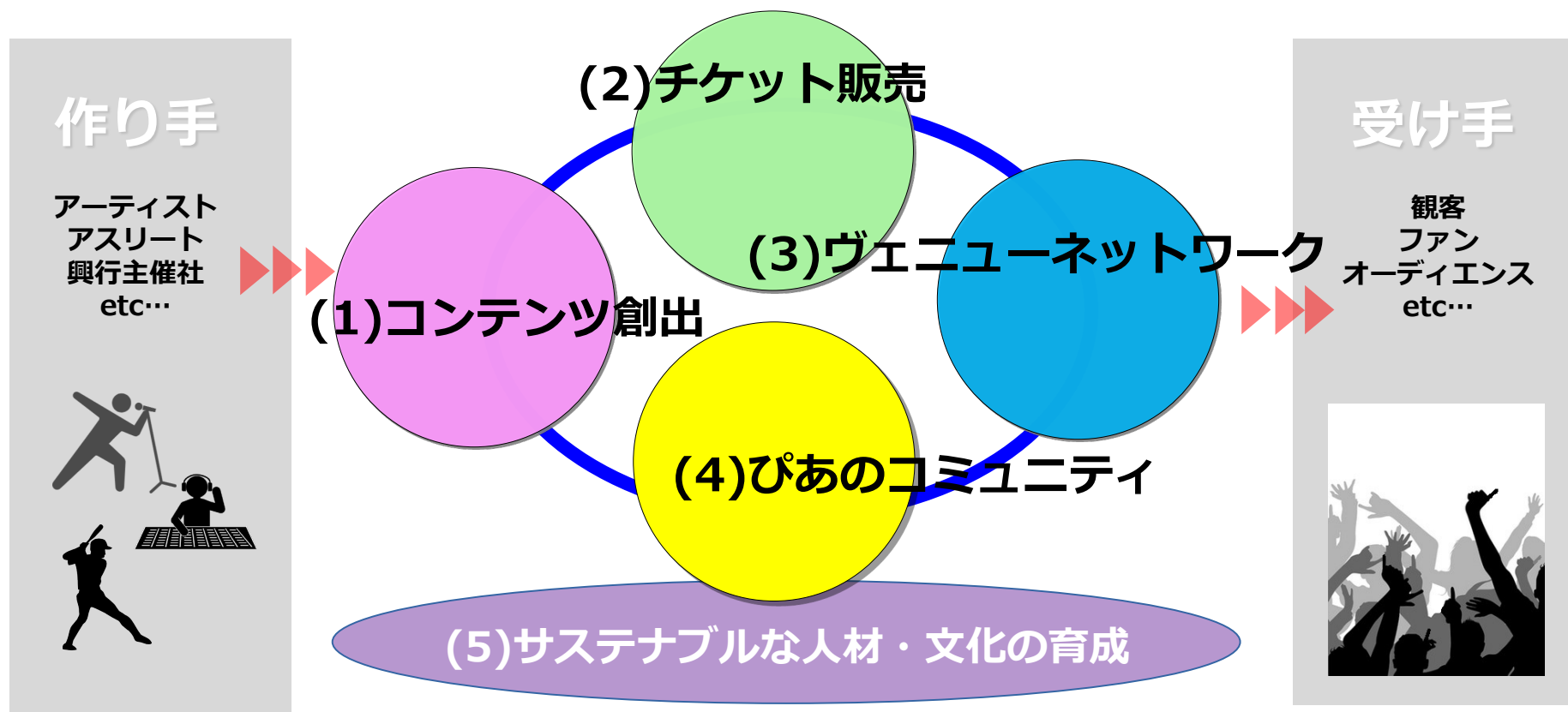


現在、22の公認クラブが活動中

平均約9%の給与アップを行うとともに、一般職正社員制度を導入し、契約社員約40名を正社員に登用。

職場環境の改善も含め、やりがいの向上や働き方の改革を推進中。また従業員のエンタメ鑑賞や、公認クラブ活動への補助金も支給し、生き生きとした生活を支援する

利益を求める「経済性」と、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、集客エンタテインメントを通じた、“感動のライフライン”の構築を目指してまいります





ご清聴ありがとうございました

